令和2年度

北しりべし廃棄物処理広域連合一般会計歳入歳出決算審査意見書

北しりべし廃棄物処理広域連合 監 査 委 員

目 次

第1 審査の概	要	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1
1 審 査 の	種類	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	1
2 審 査 の	対 象	•	•	•	•	•			•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		•	•	•	•	1
3 審査の着	制 点	•	•			•			•	•	•	•	•		•	•	•	•		•	•	•		1
4 審査の実	施内容	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		1
第2 審査の結	果	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		1
第3 決 算 の 概	要	•	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		1
1 決 算 収 3	支	•	•	•	•	•	•		•	•	•	•	•		•	•	•	•	•		•	•	•	2
2 歳 フ	\	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	3
3 歳	Ц	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	4
4 財源内意	Я	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	5
5 性質別経費	其	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	5
6 債務負担行為	4	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	5
第4 資金収支の状	: 況	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•				•	•	•	6
第5 財産の状	況	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	6
第6 ごみ処理の状	沈	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	7
第7 意	見	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	7
主】 1 文中及び表中の金額 そのため、合計と内																								・ます -

【注

また、「収入率」及び「執行率」が99.95%以上100%未満の場合は「99.9%」と、「収入率」 が100%超100.05%未満の場合は「100.1%」とそれぞれ表示しています。

2 文中及び表中の符号等の用法は、次のとおりです。

「 - 」・・・ 該当する数値がない又は増減がないもの

「0」、「0.0」・・ 該当する数値はあるが表示単位未満のもの

「 △ 」・・・ 減少

「ポイント」・・・ 百分率(%)で表された二つ以上の数値の差

「皆 増」・・・ 前年度に該当する数値がなく、比率を算出できないもの

「皆 減」・・・ 本年度に該当する数値がなく、比率を算出できないもの

令和2年度 北しりべし廃棄物処理広域連合 一般会計歳入歳出決算審査意見書

令和2年度北しりべし廃棄物処理広域連合一般会計歳入歳出に係る決算審査の実施結果について、 以下のとおり意見を付します。

なお、審査の実施に当たっては、北しりべし廃棄物処理広域連合監査基準(令和2年北しりべし廃棄物処理広域連合監査委員告示第2号)に準拠しました。

第1 審査の概要

- 1 審査の種類 決算審査
- 2 審査の対象 今和2年度 北しりべし廃棄物処理広域連合一般会計歳入歳出決算
- 3 審査の着眼点

広域連合長から提出された一般会計歳入歳出決算書その他の書類について、関係法令に従い 適正に処理されているか、また、各計数が正確であるかを着眼点としました。

4 審査の実施内容

- (1)審査に付された書類(地方自治法第292条において準用する同法第233条第2項に基づくもの)
 - ① 令和2年度 一般会計歳入歳出決算書
 - ② 令和2年度 一般会計歳入歳出決算事項別明細書
 - ③ 令和2年度 実質収支に関する調書
 - ④ 令和2年度 財産に関する調書
- (2)審査の方法

前記書類の検証を行いました。また、例月出納検査における支出調書類の検査の結果を参考としたほか、必要に応じ関係部署に説明を求め審査を実施しました。

(3)審査の期間 令和3年7月16日 ~ 令和3年9月21日

第2 審査の結果

審査に付された一般会計歳入歳出決算書その他の書類は、関係法令の定めるところに従って作成され、各計数は関係帳簿、証書類と符合し、正確であると認められました。

第3 決 算 の 概 要

決算の概要は、次のとおりです。

1 決算収支

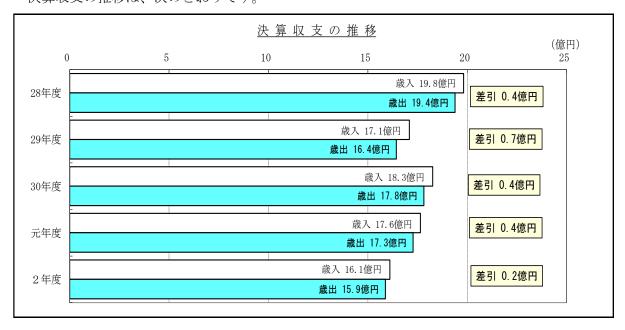
決算収支の状況は、次のとおりです。

	区分			本 年 度	前年度		比 較 増	減			
				71			平 中 及	削 十 及	金	額	比 率
							円	円		円	%
歳	入	決	算		額	(A)	1, 610, 478, 627	1, 764, 063, 228	$\triangle 153$,	584, 601	△8.7
歳	出	決	算		額	(B)	1, 587, 836, 588	1, 727, 383, 386	△139,	546, 798	△8.1
歳 (入			引 支	額)	(C=A-B)	22, 642, 039	36, 679, 842	△14,	037, 803	△38. 3
翌年	F度へ 約	巣り越	すべ	き財	源	(D)	ı	l		_	-
実	質	<u>.</u>	収		支	(E=C-D)	22, 642, 039	36, 679, 842	△14,	037, 803	△38. 3
前	年 度	実	質	収	支	(F)	36, 679, 842	44, 027, 487	△7,	347, 645	△16. 7
単	年	度	収		支	(E-F)	△14, 037, 803	$\triangle 7, 347, 645$	 △6,	690, 158	91. 1

本年度は歳入 1,610,479 千円に対し、歳出は 1,587,837 千円となり、差引き(形式収支)22,642 千円の剰余金を生じ決算を了しました。また、実質収支は翌年度へ繰り越すべき財源がなかったことから、形式収支と同額となりましたが、前年度実質収支を差し引いた単年度収支は、14,038 千円の赤字となりました。

歳入歳出差引額を前年度と比較すると、歳入の減少額153,585千円が歳出の減少額139,547千円 を上回ったことから、14,038千円(38.3%)減少しました。

決算収支の推移は、次のとおりです。



決算収支の推移を見ると、歳入額及び歳出額は、いずれもおおむね減少傾向にあり、本年度は 前年度に引き続き減少となりました。

2 歳 入

歳入決算額は、次のとおりです。

款	予 算 現 額	調定額	収入済額	対予算	対調定	対前年度収入済	簡増減
办人	7 异 5 0	妈 足 饭	以八角帜	収入率	収入率	金 額	比 率
	円	円	円	%	%	円	%
分 担 金 及び負担金	1, 345, 755, 000	1, 345, 755, 000	1, 345, 755, 000	100.0	100.0	$\triangle 136, 675, 000$	△9. 2
使用料及び手 数 料	125, 512, 000	130, 107, 367	130, 107, 367	103. 7	100.0	$\triangle 16, 459, 279$	$\triangle 11.2$
繰 越 金	36, 680, 000	36, 679, 842	36, 679, 842	99. 9	100.0	$\triangle 7, 347, 645$	△16. 7
諸 収 入	70, 637, 000	77, 936, 418	77, 936, 418	110.3	100.0	\triangle 10, 059, 677	△11.4
繰 入 金	20, 000, 000	20, 000, 000	20, 000, 000	100.0	100.0	20, 000, 000	皆増
国庫支出金	-	_	-	_	_	△3, 043, 000	皆減
計	1, 598, 584, 000	1, 610, 478, 627	1, 610, 478, 627	100.7	100.0	$\triangle 153, 584, 601$	△8.7

収入済額を予算現額と比較すると、収入率は100.7%となりました。また、収入済額を前年度と 比較すると153,585千円(8.7%)減少しました。

分担金及び負担金は、関係市町村からの負担金で、収入済額を前年度と比較すると136,675千円 (9.2%)減少しました。これは主に、ごみ焼却施設の施設管理及び運営費並びに公債費の負担分が減少したためです。

なお、市町村別負担金の推移は、次のとおりです。

IX,	区 分		2年度	元年度	比較均	曽 減	30年度	29年度	28年度
	-))	2 平皮	几千尺	金 額	比 率	30年度	29千度	20千皮
			千円	千円	千円	%	千円	千円	千円
小	樽	市	1, 171, 274	1, 291, 959	$\triangle 120,685$	△9. 3	1, 312, 477	1, 224, 613	1, 459, 310
積	丹	町	14, 626	15, 938	$\triangle 1,312$	$\triangle 8.2$	15, 634	14, 914	17, 634
古	平	町	20, 555	22, 965	△2, 410	$\triangle 10.5$	22, 780	21, 838	26, 110
仁	木	町	14, 856	15, 475	△619	△4. 0	15, 433	14, 119	17, 080
余	市	町	117, 502	128, 498	△10, 996	△8.6	129, 183	119, 639	142, 109
赤井	; ЛІ	村	6, 942	7, 595	△653	△8.6	7, 459	7, 064	7, 900
	計		1, 345, 755	1, 482, 430	△136, 675	△9. 2	1, 502, 966	1, 402, 187	1, 670, 143

使用料及び手数料の内訳は、次のとおりです。

目 ・ 節	予算現額	調定額	収入済額	対予算	対調定	対前年度収入	脊額増減
H . Eli	1 异 九 镇	朔 足 領	以 八 讷 顿	収入率	収入率	金額	比 率
	円	円	円	%	%	円	%
衛 生 使 用 料	90, 000	90, 000	90, 000	100.0	100.0	_	_
ごみ処理施設使用料	90, 000	90, 000	90, 000	100.0	100.0	-	_
衛 生 手 数 料	125, 422, 000	130, 017, 367	130, 017, 367	103. 7	100.0	$\triangle 16, 459, 279$	△11.2
ごみ焼却処理手数料	113, 900, 000	119, 436, 631	119, 436, 631	104. 9	100.0	$\triangle 15, 424, 735$	△11. 4
粗大ごみ処理手数料	11, 520, 000	10, 558, 736	10, 558, 736	91.7	100.0	△788, 544	△6.9
搬入許可等手数料	2,000	22, 000	22, 000	1, 100. 0	100.0	△246, 000	△91.8
計	125, 512, 000	130, 107, 367	130, 107, 367	103. 7	100.0	\triangle 16, 459, 279	△11. 2

繰越金は、前年度繰越金で、収入済額を前年度と比較すると7,348千円(16.7%)減少しました。

諸収入は、鉄くず等売払収入、余剰電力売払収入等で、前年度と比較すると10,060千円(11.4%)減少しました。これは主に、鉄くず等売払収入で4,819千円、余剰電力売払収入で5,242千円それぞれ減少したためです。

繰入金は、運営資金基金繰入金で、前年度と比較すると20,000千円皆増しました。

3 歳 出

歳出決算額は、次のとおりです。

	款		予 算 現 額	支出済	頂	不 用 額	対前年度支出済	額増減
	邓八		1 并 坑 鸱	金 額	執行率	1、用 假	金額	比 率
			円	円	%	円	円	%
議	会	費	830, 000	247, 355	29.8	582, 645	$\triangle 160,695$	△39. 4
総	務	費	102, 418, 000	100, 402, 683	98.0	2, 015, 317	2, 381, 626	2.4
衛	生	費	1, 109, 254, 000	1, 102, 104, 899	99.4	7, 149, 101	$\triangle 49,559,608$	△4. 3
公	債	費	385, 082, 000	385, 081, 651	99. 9	349	\triangle 92, 208, 121	△19. 3
予	備	費	1,000,000	_	_	1, 000, 000	_	_
	計		1, 598, 584, 000	1, 587, 836, 588	99.3	10, 747, 412	△139, 546, 798	△8.1

支出済額を予算現額と比較すると10,747千円の不用額を生じました。また、支出済額を前年度と比較すると139,547千円 (8.1%) 減少しました。

議会費は、議員報酬、会議録作成委託料等で、予算現額に対し29.8%の執行率となり、不用額は583千円となりました。また、支出済額を前年度と比較すると161千円(39.4%)減少しました。

総務費の項別決算の状況は、次のとおりです。

項	予 算 現 額	支 出 済	額	不 用 額	対前年度支出済	f額増減
坦	7 异 坑 鸻	金額	執行率	个 用 領	金 額	比 率
	円	円	%	円	円	%
総務管理費	102, 083, 000	100, 136, 623	98. 1	1, 946, 377	2, 389, 566	2.4
選 費	111,000	109, 520	98. 7	1, 480	△160	△0.1
監査委員費	224, 000	156, 540	69. 9	67, 460	△7, 780	$\triangle 4.7$
計	102, 418, 000	100, 402, 683	98.0	2, 015, 317	2, 381, 626	2.4

総務費は、予算現額に対し98.0%の執行率となり、不用額は2,015千円となりました。

支出済額を前年度と比較すると2,382千円(2.4%)増加しました。これは主に、総務管理費の積立金で7,348千円減少しましたが、委託料で9,289千円増加したためです。

衛生費(施設管理運営費)の目別決算の状況は、次のとおりです。

目	予 算 現 額	支出済額	頂	不用額	対前年度支出済	額増減
II.	7 异 5 0 0	金 額 (金 額	比 率	
	円	円	%	円	円	%
ごみ焼却施設管理運営費	689, 423, 000	683, 848, 221	99. 2	5, 574, 779	\triangle 62, 818, 271	△8.4
リサイクルフ°ラサ`管理運営費	391, 340, 000	390, 277, 779	99. 7	1, 062, 221	11, 743, 760	3. 1
北後 志リサイクル センター 管 理 運 営 費	28, 491, 000	27, 978, 899	98. 2	512, 101	1, 514, 903	5. 7
計	1, 109, 254, 000	1, 102, 104, 899	99.4	7, 149, 101	$\triangle 49,559,608$	$\triangle 4.3$

衛生費は、予算現額に対し99.4%の執行率となり、不用額は7,149千円となりました。

支出済額を前年度と比較すると49,560千円(4.3%)減少しました。これは主に、リサイクルプラザ管理運営費の委託料で11,985千円、北後志リサイクルセンター管理運営費の委託料で1,118千円それぞれ増加しましたが、ごみ焼却施設管理運営費の委託料で62,838千円減少したためです。

公債費の支出済額の内訳は、元金377,459千円、利子7,623千円で、前年度と比較すると元金で84,973千円、利子で7,235千円それぞれ減少しました。

4 財源内訳

科目別の財源内訳は、次のとおりです。

						充 当	財 源		
	科	目	歳出決算額		特定	財 源		一般	財 源
	71	Н	版四八升版	使用料及び 手 数 料	諸収入	国庫支出金	計	金 額	歳出決算額 に対する割合
-34	,	-#1	円	円	円	円	円	円	%
議	垒	費	247, 355	_	ı	ı		247, 355	100.0
総	彩	費	100, 402, 683	_	4, 299	-	4, 299	100, 398, 384	99. 9
衛	4	. 費	1, 102, 104, 899	130, 107, 367	77, 932, 109	-	208, 039, 476	894, 065, 423	81. 1
)"	み焼却	施設管理運営費	683, 848, 221	119, 502, 631	64, 561, 678	1	184, 064, 309	499, 783, 912	73. 1
y +	サイクル	プラザ管理運営費	390, 277, 779	10, 604, 736	7, 918, 482	_	18, 523, 218	371, 754, 561	95. 3
北	後志リサイ	(クルセンター管理運営費	27, 978, 899	-	5, 451, 949	_	5, 451, 949	22, 526, 950	80. 5
公	信	費	385, 081, 651	-	1	1	-	385, 081, 651	100.0
		計	1, 587, 836, 588	130, 107, 367	77, 936, 408	ı	208, 043, 775	1, 379, 792, 813	86. 9
	前	年度計	1, 727, 383, 386	146, 566, 646	87, 996, 085	3, 043, 000	237, 605, 731	1, 489, 777, 655	86. 2
比	較	金 額	△139, 546, 798	△16, 459, 279	△10, 059, 677	△3, 043, 000	△29, 561, 956	△109, 984, 842	ポ [°] イント 0. 7
増	減	比 率 (%)	△8.1	△11. 2	△11. 4	皆減	△12. 4	△7. 4	

科目別の財源内訳を前年度と比較すると、特定財源で29,562千円(12.4%)、一般財源で109,985 千円(7.4%) それぞれ減少しました。

なお、本年度の歳出決算額に対する一般財源の割合は86.9%で、前年度と比較すると0.7ポイント上昇しました。

5 性質別経費

性質別経費の推移は、次のとおりです。

	区	分		2年度	元年度		削減	30年度	29年度	28年度
		23		·		金額	比 率		·	
				千円	千円	千円	%	千円	千円	千円
人	1	牛	費	100, 817	99, 700	1, 117	1. 1	98, 204	97, 479	108, 067
物	1	牛	費	1, 052, 230	1, 093, 376	△41, 146	△3.8	1, 127, 756	1, 012, 610	1, 269, 159
維	持	補 修	費	-	-	_	-	453	71	886
扶	J	助	費	740	820	△80	△9.8	720	755	680
補	助	費	等	12, 288	12, 170	117	1.0	11, 901	12, 057	11, 972
公	1	漬	費	385, 082	477, 290	△92, 208	△19. 3	477, 290	477, 290	477, 290
積	-	<u>V</u> .	金	36, 680	44, 027	△7, 348	△16. 7	65, 578	42, 982	70, 193
	į	計		1, 587, 837	1, 727, 383	△139, 547	△8. 1	1, 781, 902	1, 643, 244	1, 938, 246

6 債務負担行為

債務負担行為の状況は、次のとおりです。

事項	限度額	前年度ま	での支出額	本年度	翌年度以降の支出予定額		
		期間	金 額		期間	金 額	
	千円		千円	千円		千円	
ごみ処理施設管理運営事業費	16, 574, 000	平成19年度 〈 令和元年度	12, 923, 347	1, 002, 679	令和3年度	1, 036, 592	
次期運営委託事業に係る 契約支援業務委託料	7, 468		-	-	令和3年度	7, 388	

第4 資金収支の状況

月別の資金収支の状況は、次のとおりです。

		収	入	支	出	残	高
区	分	収入額	(運用額・ 一時借入金)	支 出 額	(運用等償還額)	月末収支残高	(運用等の残額)
		円	円	円	円	円	円
2年	4月	30, 699, 469	(500,000)	8, 266, 129	(500,000)	22, 433, 340	(-)
	5月	87, 040, 408	(-)	92, 801, 939	(-)	16, 671, 809	(-)
	6月	144, 498, 041	(-)	107, 904, 189	(-)	53, 265, 661	(-)
	7月	100, 869, 777	(-)	94, 030, 163	(-)	60, 105, 275	(-)
	8月	148, 041, 086	(-)	95, 248, 561	(-)	112, 897, 800	(-)
	9月	285, 431, 115	(-)	327, 413, 266	(-)	70, 915, 649	(-)
	10月	98, 785, 806	(-)	88, 846, 360	(-)	80, 855, 095	(-)
	11月	88, 585, 478	(-)	97, 964, 046	(-)	71, 476, 527	(-)
	12月	113, 212, 347	(-)	143, 009, 075	(-)	41, 679, 799	(-)
3年	1月	108, 175, 602	(-)	94, 016, 974	(-)	55, 838, 427	(-)
	2月	142, 634, 098	(-)	92, 323, 902	(-)	106, 148, 623	(-)
	3月	241, 599, 644	(-)	243, 409, 161	(-)	104, 339, 106	(-)
出納 整理	4月	14, 886, 558	(-)	102, 602, 823	(-)	16, 622, 841	(-)
期間	5月	6,019,198		コナは言えれがれて	(-)	22, 642, 039	(-)

⁽注)括弧書きの数値は収入額、支出額、月末収支残高それぞれの内数です。

収入額の主なものは市町村負担金で、協定に基づき毎月納入されています。

また、支出額を月別で見ると、9月と3月は地方債の償還、12月は運営資金基金への積立の ため、それぞれ支出額が大きくなっています。

なお、一時借入金は、予算で定めた最高額100,000千円に対し、借入れはありませんでしたが、 令和2年4月において、一時的に資金不足が生じたため、前年度(出納整理期間)から500千円の 資金振替を行いました。

第5 財産の状況

財産の状況は、次のとおりです。

		区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高	評価価格又は取得価格
			m²	m²	m²	千円
	土	地	52, 826. 00	_	52, 826. 00	101, 962
公		ご み 処 理 施 設 敷 地	52, 826. 00	_	52, 826. 00	101, 962
	建	物	27, 806. 79	_	27, 806. 79	7, 072, 353
有		北しりべし広域クリーンセンター	27, 140. 14	_	27, 140. 14	6, 928, 478
		搬入用計量棟	182. 87	_	182. 87	67, 241
財		搬 出 用 計 量 棟	77. 90		77. 90	30, 767
産		スラグストックヤード棟	123. 12		123. 12	31, 428
庄		北後志リサイクルセンター	198. 92		198. 92	14, 439
		北後志リサイクルセンターびん等保管棟	83. 84		83.84	14, 439
基			円	円	円	
金	運	営資金基金	367, 381, 612	16, 679, 842	384, 061, 454	

本年度は、公有財産(土地及び建物)の増減はありませんでしたが、基金(運営資金基金)は 16,680千円増加しました。

第6 ごみ処理の状況

北しりべし広域クリーンセンター(ごみ焼却施設・リサイクルプラザ)及び北後志リサイクルセンターのごみ処理状況の推移は、次のとおりです。

3	名 称	種	類	2年度	元年度	比較増減		30年度	29年度	28年度	
北しりべ				トン	トン	トン	%	トン	トン	トン	
	ごみ焼却施設	可燃ごみ	搬入量	35, 900. 69	37, 973. 99	△2, 073. 30	△5. 5	38, 482. 58	39, 667. 93	40, 152. 61	
	リサイクルプラザ	不燃ごみ	搬入量	4, 875. 96	4, 876. 17	△0. 21	△0.0	4, 986. 26	4, 728. 44	4, 796. 33	
ン セ 広 ン 域		粗大ごみ	資源化量	312. 73	307. 14	5. 59	1.8	323. 14	314. 21	450. 57	
9			資源物	搬入量	3, 321. 15	3, 325. 66	△4. 51	△0.1	3, 318. 94	3, 323. 36	3, 359. 54
		貝 你 初	資源化量	2, 905. 43	2, 830. 03	75. 40	2. 7	2, 877. 15	2, 868. 74	2, 845. 20	
-11-2公=	去リサイクルセンター		搬入量	1, 039. 54	1, 102. 25	△62. 71	△5. 7	1, 155. 52	1, 209. 28	1, 272. 72	
11/2/	ショッパンル ピング・	貝が物	資源化量	1, 012. 90	1, 084. 93	△72. 03	△6. 6	1, 128. 59	1, 184. 33	1, 263. 22	

市町村別のごみ搬入量は、次のとおりです。

	名	称	小 樽 市	積 丹 町	古平町	仁木町	余市町	赤井川村	計
北 クし リり	ごみ焼却施設	本 年 度(トン)	30, 189. 19	407.80	646. 39	572. 17	3, 924. 61	160. 53	35, 900. 69
		前年度(トン)	32, 131. 93	435. 40	650. 76	561.62	4, 027. 38	166. 90	37, 973. 99
ーベンし		比較増減(%)	△6.05	△6. 34	△0.67	1. 88	△2. 55	△3.82	△5. 46
セ広ン域	リサイクルプラザ	本 年 度(トン)	8, 099. 78	7. 24	9. 61	12. 95	62. 77	4. 76	8, 197. 11
ター		前年度(トン)	8, 104. 28	7. 27	9.84	13. 22	62. 26	4. 96	8, 201. 83
		比較増減(%)	△0.06	△0.41	△2.34	△2.04	0.82	△4.03	△0.06
		本 年 度(トン)		72.75	85. 13	89. 19	754. 27	38. 21	1, 039. 54
北後志リサイクルセンター		前年度(トン)		78. 76	91. 37	95. 44	795. 71	40. 97	1, 102. 25
		比較増減(%)		△7. 64	△6.83	△6. 56	△5. 21	△6. 73	△5. 69
計前		本年度(トン)	38, 288. 97	487.79	741. 13	674. 31	4, 741. 65	203. 50	45, 137. 34
		前年度(トン)	40, 236. 21	521.43	751. 97	670. 28	4, 885. 35	212. 83	47, 278. 07
		比較増減(%)	△4.84	△6. 45	△1.44	0.60	$\triangle 2.94$	△4. 38	△4. 53

第7意見

決算の概要は前述のとおりですが、区域内人口の減少等の影響により、全体的にごみの搬入量が減少傾向にある中、本年度の予算については、新型コロナウイルス感染症の影響等により、ごみ焼却処理手数料など歳入の落ち込みが見込まれたため、補正予算による運営資金基金からの繰入れにより収支均衡が図られました。結果として、決算については、特定財源であるごみ焼却処理手数料や余剰電力売払収入などの諸収入において、予算額との比較では増加したものの、前年度との比較では減少しました。

各施設の管理運営に当たっては、今後もごみの搬入量の減少が見込まれ、処理手数料などの財源確保は難しくなるものと思料いたしますので、引き続き関係市町村と連携を図りながら、令和元年度に策定した「ごみ焼却施設並びにリサイクルプラザの長寿命化総合計画」に基づき、施設の基幹的設備や機器更新等の整備などを適切な時期に実施されるとともに、効率的な財政運営、並びに北後志地域における一般廃棄物の適正かつ安全な処理に努められますよう望みます。